

携帯電話問題・ネットいじめの実態②

～大学生を対象としたアンケート調査から実態を見る～

学校教育教員養成課程中学校教育専攻技術選修 3年

06P1245 本間 史祥

1. はじめに

文部科学省が青少年が使用する学校非公式サイトに関する調査をまとめ、学校裏サイトの実態や全体像が把握しつつあるが、全国に38000件ある(全国Webカウンセリング協議会の調査では約10万件)と言われている学校裏サイトの全てを把握したとは言い切れない。今回は基礎研究として大学生を対象にネットいじめについてのアンケート調査を実施し、学校裏サイトやなりすましによるネットいじめの認知度や、現在大学生がこの問題に対してどのような考えを持っているかなどを調査し、考察した。

2. 調査対象について

調査対象人数：329人

(単位：人)

所属学部		性別		出身都道府県		卒業後年数	
教育	202(64%)	男性	142(45%)	青森	170(54%)	1年目	235(75%)
理工	62(20%)	女性	173(55%)	北海道	45(14%)	2年目	63(20%)
人文	32(10%)			岩手	29(9%)	3年目	8(3%)
医学保健	14(4%)			秋田	29(9%)	その他	5(2%)
農生	6(2%)			南東北	25(8%)		
				関東	14(4%)		
				関西	4(1%)		
				四国九州	2(1%)		

3. アンケート調査結果

1.あなたは高校3年次に携帯電話を持っていましたか。

持っている	持っていない
310(95%)	17(5%)

1-2.「持っている」と答えた方に伺います。

携帯電話を持ち始めたのはいつですか。

小学校低	小学校中	小学校高	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年	浪人・大学
0	1	7	27	35	61	175	7	1	0
0%	0%	2%	9%	11%	19%	57%	2%	0%	0%

1-3.持ち始めた理由は何ですか（複数選択可）

入学、卒業祝い プレゼント	防犯	友達が持 っていた	インターネットが したい	携帯メールが したい	なんとなく	親との連 絡のため	その他
103	11	53	8	65	56	118	17
24%	3%	12%	2%	15%	13%	27%	4%

その他の理由として

※部活の連絡用

※持つのが当たり前と考えていた

※コミュニケーションのツールの一つとして

2.あなたの家でパソコンを使ってインターネットを使うようになったのはいつですか。

小学校低	小学校中	小学校高	中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年	使っていない
5	11	47	52	43	22	30	21	28	69
2%	3%	14%	16%	13%	7%	9%	6%	9%	21%

<携帯電話を持っている方>

3.購入時にフィルタリングサービス(有害サイトへのアクセス制限)を使っていましたか。

使っていた	使っていない	わからない
17	260	48
5%	80%	15%

3-1.「使っていない」と答えた方に伺います。

その後フィルタリングサービスを使いましたか。

使った	使っていない
10	251
4%	96%

6-2.実際に学校裏サイトに書き込んだことがありますか

ある	ない
28	148
16%	84%

6-3.学校裏サイトの掲示板等で誹謗中傷しているのを見たことがありますか

見たことがある	見たことがない
133	43
76%	24%

6-3-1.「ある」と答えた方に伺います。どのような誹謗中傷でしたか

「死ね」や「ブス」 などの中傷	デタラメな情報	いじめられている画像 や動画の貼り付け	個人情報を掲載	その他
103	37	1	29	11
57%	20%	1%	16%	6%

その他

※先生への誹謗中傷

※個人が特定されるような書き込み

※不名誉な事実の書き込み

※わいせつ情報の書き込み

6-4.実際に学校裏サイトに人を傷つける内容や言葉を書き込んだことがありますか

ある	ない
2	174
1%	99%

7.学校裏サイトの掲示板等に嫌な事を書かれ、不登校になったり、ショックを受けたことがありますか

ある	ない
9	168
5%	95%

7-1.「ある」と答えた方に伺います。誰かに相談しましたか。

友人	先輩・後輩	家族	教師	カウンセラー	その他
6	0	0	0	0	4

その他

※相談しなかった

8.学校裏サイトの掲示板等に嫌な事を書かれ、不登校になった、ショックを受けた友人や先輩、後輩がいましたか。またそのような話を聞いたことがありますか。

ある	ない
41	133
24%	76%

9.サブアドレス（本来与えられるメールアドレスとは別に補助的に取得できるアドレス）を持っていたか

持っている	持っていない
50	277
15%	85%

9-1.「持っていた」と答えた方にお聞きします。

そのサブアドレスを使って他人になりすましてメールを送ったことがありますか

ある	ない
5	46
10%	90%

10.違法なソフトを使って他人のアドレスを取得できることを知っていましたか

知っている	知らない
69	258
21%	79%

10-1.「知っていた」と答えた方に伺います。取得したアドレスでメールを送ったことがありますか

ある	ない
2	66
3%	97%

11.プロフィール公開サイト（プロフ）を立ち上げたことがありますか

ある	ない
81	246
25%	75%

11-1. 「ある」と答えた方に伺います。自分自身のプロフィール公開サイトですか

自分自身	他人
76	4
95%	5%

12. インターネットの危険性や情報モラル、ネチケット等の授業を受けたことがありますか

ある	ない
248	79
76%	24%

12-1. 「ある」と答えた方に伺います。何の授業でしたか（複数選択可）

中学校技術	小学校総合	中学校総合	高校情報	道徳	学級活動	その他
76	20	69	192	12	18	13
19%	5%	17%	48%	3%	5%	3%

その他

※大学の情報 ※中学の全校朝会 ※高校の総合

13. 授業以外でインターネットの危険性、情報モラル、ネチケット等の説明を受けたことがありますか

ある	ない
93	234
28%	72%

13-1. 「ある」と答えた方に伺います。

どこで説明を受けましたか

テレビで見た	家族から聞いた	インターネットで見た	地域講座	友人・先輩から聞いた	その他
48	11	15	21	2	7
46%	11%	14%	20%	2%	7%

その他

※学校裏サイトが発見された後の全校朝会
 ※応援塾の講座

14.現在、18歳未満の子どもが携帯電話を使用する際にフィルタリングサービスを利用することが推進されていますが、これに対してあなたはどのように思いますか

絶対利用すべき	ルールがあれば利用しなくて良い	利用する必要はない
107	189	16
34%	61%	5%

利用する必要がない理由

- ・子どもの自主性の尊重
- ・フィルタリングは完全でない
- ・自分で見極める力が養えない
- ・自分で判断すべき

その他

- ・本人と親の意思により決定
- ・中学生（ある程度の年齢）までは必要
- ・ブラックリストにとどめておくべき

15.福田首相の諮問会議「教育再生懇談会」が、「小中学生が携帯電話を所持することを規制する」提言（5月26日）をしましたが、これに対してあなたはどのように思いますか

【小学校の場合】

所持を規制すべき	規制ではなく、学校や家庭などでの他の指導で対応	その他
148	167	12
45%	51%	4%

その他

- ・電話機能、メール機能だけにすべき
- ・子どもにも携帯を持つ権利がある
- ・他の防犯対策をとるべき

【中学校の場合】

所持を規制すべき	規制ではなく、学校や家庭などでの他の指導で対応	その他
68	249	9
21%	76%	3%

その他は小学生の場合とほぼ同じ

16.現在深刻化している携帯電話・ネットいじめ問題の解決方法としてもっとも有効な手段は

どれだと思いますか（4つ以内複数選択可）

18歳未満フィルタリングサービスの社会的規制	18歳未満携帯電話規制	情報モラル教育の推進	道徳教育の強化	シンポジウムやマスコミによる世論形成
109	47	164	161	37
12%	5%	19%	18%	4%
親・教師に対する研修会を行い、認識を高める	学校内持込規制、使用規制	子どもたちによる自主的な取組推進	書込みや立ち上げを規制する法的対応	その他
74	55	120	131	4
8%	6%	13%	15%	0%

その他

- ・解決は難しい
- ・マスコミが誇張して事実を伝えない

4. 分析

(1) 地域性の検討

地域別にデータを抽出し、地域によってこの問題に関しての差があるか検討した。特に対象数が多い北海道と青森を全体と比較してみたが、全ての質問で地域によっての大きな違いは見られなかった。理由として考えられることは北海道、青森どちらの地域も携帯電話所持率は93%、96%と高い数字を示したこと。さらに各学校や家庭でもインターネット環境が整っていることなどが挙げられる。

この結果から携帯電話・ネットいじめ問題は首都圏を中心とした問題ではなく、全国的に大きく広がっており、地域でも焦眉の課題として捉えていかなければならない。

5. アンケート調査の考察

(1) フィルタリングサービスの是非

「購入時のフィルタリングサービスを利用しない人」の割合は 80%、「その後も利用しなかった」割合は 96%と極めて高い。しかし「18 歳未満の子どもに対してフィルタリングサービスを絶対に利用すべきと考えている人」は 34%である。これはフィルタリングサービスの認知不足が原因と考えられる。フィルタリングサービスがどのようなものなのか、どのくらい安全性が高まるのか、保護者と子どもに働きかけていく必要がある。

(2) 学校裏サイトの目的の変化

本来、学校裏サイトは子どもたちが放課後や休日など学校生活から離れた所でのコミュニケーション、友達作り、情報交換の場としてインターネットを通じて立ち上がった。今回の調査でも「学校裏サイトを見たことがある」のは 54%である。しかし本来の目的である「情報交換」「雑談」「友達作り」はそれぞれ 8%、6%、0%未満である。さらに「学校裏サイトで誹謗中傷しているのを見たことがあるか」では 76%が「ある」と答えた。

学校裏サイトを見た人 176 人に対し、誹謗中傷を見たのは 133 人。割合では 75%。よって学校裏サイトの 75%は誹謗中傷の温床になっていると考えられる。その要因としては誹謗中傷した方が掲示板が盛り上がる、掲示板だと悪口が言いやすいなどが考えられる。

(3) 学校裏サイト・掲示板以外のネットいじめ(サブアドレスやプロフによるなりすまし)の検討

サブアドレスの取得状況は「持っていない」と答えた人は 85%、さらに「持っている」と答えた人の 90%は「他人になりすましてメールは送ったことがない」と答えている。プロフに関しても「立ち上げたことがない」は 75%、「立ち上げたことがある」人でも「自分自身のプロフ」が 95%と何れもネットいじめにつながっている可能性は低い。サブアドレスに関しては取得方法がわからないやサブアドレスを知らない子どもがまだ多いと考えられる。プロフに関しても同様のことが言える。さらに最近の情報モラル教育の強化により、子どもたちが自身が個人情報公開することの危険性を認識している可能性も考えられる。

(4) 携帯電話規制の学校別の意識の違い

小学校の携帯電話規制に関しては「規制することはある程度必要」と答えた人は 45%に対し、中学校では 21%であった。これは小学生にはまだ携帯電話は必要ないと考えている人が多いからだと考えられる。一方で中学校での「指導や他の対策で対応すべき」と答えた人は 76%と小学校の 51%に比べると高い。中学校では規制することよりも学校現場、家庭、地域での指導を重視している。これは子どもの自主性を尊重することや自己責任といった理由があげられる。また中学生には防犯やクラスの状況、友達関係などの側面から携帯電話が必要と考えている人が多いことも考えられる。

(5) 携帯電話問題・ネットいじめの問題の解決方法

「情報モラル教育の推進」「道德教育の強化」「子どもの自主的な取組み」などの教育的な指導を強化することが他よりも高い割合を示した(19%、18%、13%)さらに社会的な規制や法的な規制が解決つながると考えている人も同じ程度いる。しかし携帯電話を規制(学校内外問わず)することに関しては直接的な解決になると考えている人は少ない。

6. 今後の課題

上記(5)で触れたように子どもから携帯電話を規制することよりも教育面での強化が必要だと考える。その対象は子どもだけでなく、教師、保護者にも必要である。現在未成年が携帯電話を持つには保護者の同意が必要である。保護者がネットいじめの実態やフィルタリングサービスの機能を知ることによって子どもを物理的にネットいじめから守ることができる。この認知を広げていく必要があると考えられる。子どもたちにもネットいじめの怖さ、リスクを教えるなどより実態に近いものにし、子どもたちが自身が自分の携帯電話の扱い方を見つめ直していくような指導が必要である。さらにこれから携帯電話所持の低年齢化はさらに進むものと考えられるため、高校からの指導ではなく、中学校さらには小学校段階においても指導していかなければならない。

<参考>

文部科学省ホームページ

青少年が利用する学校非公式サイトに関する調査報告書

平成20年3月

『学校裏サイト』 下田博次 著 東洋経済新報社

2008年4月